



ふじいよしあき  
藤井義明議員

### 笠岡消防署南署設置で本当に島民の命が守れるのか？

**議員** 笠岡消防署南署を設置すると言えば、北出張所や寄島出張所の様な機能を持った消防署になると市民は考えるが、いかなる機能を持った消防署を目指すのか。

**市長** 救急救命士が1名常駐し、24時間体制で救急搬送対応が出来る消防署を目指している。

**議員** 島しよ部の救急搬送の増加や、消防団員の高齢化と確保が困難であること等が理由であれば、各島々にも消防署を設置する必要があると考えるが。

**市長** 笠岡諸島の島民の約半分は北木島に在住しており、これが一番全体の平均時間が短くなると考える。他の島は海上タクシーを北木に配置し、救急救命士が駆けつける。同時に、陸地部からも救急



隊が駆けつける。

**議員** 島民の命を守るのが目的ではないのか。他の色々な方法を考えた事があるか。

**市長** 南署で救急救命士だと決めつけるのではなく、色々な議論をする中で集約していければと考える。

### 市長公約で借金117億円増！

**議員** 財政運営適正化計画に盛り込まれた市長公約の事業費の総額は163億3000万円が見込まれているが、同じく市長公約である収収のV字回復・職員の定数削減はこの計画に入っているのか。

**総務部長** 収収については横並びで推計しており、職員数については、具体的な定数までは踏み込んでいない。



ひのつみちこ  
樋之津倫子議員

### 子供の医療費助成の対象年齢引き上げを

**議員** 6月議会での私の同様の質問に対し、子供の医療費助成の対象年齢引き上げは子育て支援の重要な柱と捉え、早期実現を目指すという市長答弁があった。子育て環境の充実と人口増対策としても、若者の期待に応えるべきではないか。来年度からの実施を求める。

**市長** 現在、制度内容についての設計を行っている。平成30年度に国民健康保険の大きな制度改革と、それに伴う各種情報システムの更新があり、それに合わせた実施を検討している。

### 地域住民の意向を大切にしたい適正化を

**議員** 政府は統廃合の見直し基準で統合すれば、1万8000人の教員、約400億円の経費削減が



可能だと言っているが、今必要なのは、岡山県の低い正規職員率の引き上げや30人以下学級の実現ではないか。また、適正化計画の保留期間中、地元と行政の取り組みや研究がどこまで進んでいるのか。

**教育長** 正規職員の率を上げ、30人以下学級の実現が必要だとすることに異論はない。取り組みについては、市では雇用創出施策や住宅取得促進施策、子育て施策などの総合戦略事業、地域ではまちづくり協議会の取り組みを行っており、児童・生徒の減少に対する歯どめや、地域活性化の動向を注視したい。

**議員** 地域住民の意向を大切に、統廃合ではなく生き残り施策として地域の独自施策が必要では。

**教育長** 現在、独自の施策として何かないかということで検討している段階である。